

福岡ランニングセンター(FRC)ニュース NO.55

発行日：2020年7月7日

発行責任者：西村文男

事務局 新日本スポーツ・福岡県連盟北九州事務所 TEL・FAX 093-662-9278

〒806-0013 北九州市八幡西区清納1丁目1-10 E-mail krc-fn@jcom.home.ne.jp

福岡ランニングセンター(FRC) <https://www.njsf.net/zenkoku/pref/fukuoka/running/>



1kのスタート

第36回月例マラソン

練習会に24名参加！

6月21日(日)のみずまき月例マラソンは、北九州市内の新型コロナウイルス拡大のため中止となり、4月、5月に引き続き練習会形式で実施しました。

当日は曇り空、気温24度、風はありましたがランニングにはまずまずの気象条件でした。非接触型体温計での体温チェック、殺菌・消毒綿の配布、スタッフはマスク着用で、密を避けながらの実施です。今回は受付簿も準備し連絡先等を記入してもらいました(24名参加)

1キロの部を9時スタート、21名の参加(トップは3分54秒)5キロと10キロの部を9時15分スタート、5キロは8名(トップは19分52秒)10キロは11名(トップは43分14秒)の参加でした。

練習会の参加者は回を追うごとに増えています。

追伸 アイスコーヒーの差し入れありがとうございました。



3k・5k・10kのスタート

第37回みずまき月例マラソンやっとな開催！

7月19日(日)の第37回みずまき月例マラソンは水巻町の許可が取れて、やっとな開催出来るようになりました。

2月16日の第32回は雨天のために中止をしてから、第33回からはコロナ感染対策で会場使用が出来なくなりました。何と6ヵ月ぶりの再開となりました。

この間、月例マラソンを練習会に変更して、4月・5月・6月と開催してきました。

7月から再開するといっても、コロナ感染対策をしての実施になります。

従って、スポーツ行事における感染予防のガイドラインに基づいて開催します。

[参加者が遵守すべき事項]

①体調不良の場合、近くに感染が疑われる方がいる場合、過去14日以内に海外渡航又は海外在住者との濃厚接触がある場合は参加しないこと。

②マスクを持参すること。

③こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。

④他の参加者、主催者スタッフ等との距離(できるだけ2m以上)を確保すること。

⑤イベント中に大きな声で会話、応援等をしないこと。

⑥感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従うこと。

⑦イベント終了後2週間以内に新型コロナを発症した場合は、速やかに報告すること。

以上、ご協力をお願い致します。

当日は参加者に非接触型体温計での体温チェック、殺菌・消毒綿の配布を実施いたします。

また、スタッフで受付や給水に従事するスタッフはフェイスシールド・マスク・手袋の着用をしていますのでご理解をお願いします。

1. 日時 7月19日(日) 受付8:00~ (参加費必要)

2. 場所 水巻町猪熊(遠賀川河川敷1キロトラック駐車場)

3. 進行 1回目スタート9:00(1km・5km)、2回目スタート9:45(3km・10km)

2回走れます。種目の申告は必要ありません。種目を決めてスタートしてください。

注) 雨天中止です。わからないときは、前日の17時以降に事務所へ問い合わせをして下さい。

第12回にこにこペースの平和マラソンに参加を

7月26日(日)に開催します。今回はコロナ感染対策での企画にしました。

各自が思い思いにスタートして、12時に八幡東区の八幡駅前のロータリー横の「小伊藤山公園」のゴールを目指して走るというものです。

8月9日、長崎に投下された原子爆弾は小倉の軍需工場に投下される予定でした。ところが前日の八幡大空襲によって、小倉の上空は雲に覆われて視界が定まらず長崎に投下されました。

その八幡大空襲の時に、小伊藤山の防空壕に逃げ込んだ300人余りの市民が防空壕の中で犠牲になりました。現在、小伊藤山公園には慰霊碑があります。ゴールに値する場所と思います。

八幡駅前は戦後、平和を願い復興を目指して整備されました。ロータリーの真ん中には女神の像があります。そして、日本を代表する村野藤吾設計の八幡市民会館や八幡図書館等が創られて「文化の拠点」としてスタートしました。しかし、その思いも今、失われようとしています。

モデルコースとしてA・B・C・Dの四コースをつくり、サポート車を伴走させます。

現在スタッフ7名、ランナー9名、合計16名の参加申し込みがあります。

第6回のおがた新春マラソン参加受付開始!!

来春2021年1月10日(日)に開催する「第6回のおがた新春マラソン」の参加受付が7月1日から始まりました。

今年の第5回のおがた新春マラソン終了後、新型コロナ感染が広がる中での取組でした。開催出来るのか不安な中での取組でしたが、会場使用許可が下りて、福岡県、直方市、飯塚市、小竹町等の行政の後援も取れたので、開催することにしました。

6月26日に今年の参加者1,457名に「第6回のおがた新春マラソン開催要項」を発送するやいなや、現在までに111名の申し込みがあります。今回はコロナ感染もあるし、開催出来るかどうか分からないので、参加申し込みを控えるのではないかと思っていたわけです。

しかし受付を開始すると、前回のペースと変わらないペースで申込が来ています。

事務所の方にも電話で「コロナで中止になった場合は、参加費の返還があるのか」との問い合わせが多くあります。参加費のみで運営をしているので、すでに開催要項の印刷代や郵送代や事務局経費で40万円を支出しています。この後、大会パンフや参加賞や大会関係業者への委託料等で、中止してもほとんど消費してしまいます。従って、要項にも書いてあるように、参加費の返還はありませんと回答しています。

参加者からの問合せのメールのなかに「コロナに負けない大会になればいいですね!」とありました。まさに今回は、こうした思いを込めた取組になっています。

9月からの練習会に意見募集!

コロナで月例マラソンの代わりに練習会を開催してきましたがとても好評でした。月例マラソンが再開されれば、練習会はやめることとなります。しかし月例マラソンの他に練習会をしたらとの声がありました。

そこで、練習会を(月例が第3日曜日なので)第1日曜日に企画しようと思っています。場所は八幡の桃園運動公園の1周500mの周回コース。アップダウンがあり練習に適しています。

運動公園の横にFRCの事務所(自然の館)があり、更衣室・シャワー等利用出来ます。事務所の背景には皿倉山・花尾山がありトレイルラン等も出来ます。アイデアを募集しています。

《役員だより》

今年の5月、アメリカで黒人男性が白人警官に暴行を受け、死亡するという事件が起きた。

この瞬間の動画が発信され、アメリカだけでなくヨーロッパ、日本でも人種差別への抗議行動が広まった。この事件に、バスケットの八村塁選手やテニスの大阪なおみ選手、野球の大谷翔平選手やダルビッシュ投手がデモ行進やツイッターで抗議の意思表示を行った。

このことに対し「アスリートは黙っている」や「競技に専念しろ」など彼らを批判する声もあり波紋が生じている。

日本では一般的にスポーツマンの政治的発言がタブー視されてきた。

私たちを含めスポーツマンも一生活者であり、政治、経済、社会から切り離されて生活はできない。スポーツマンの発言が寛容される世の中になってほしいと思う。(孝)